

# 令和8年新春を迎えて



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より市政各般に格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、我が国では少子高齢化に伴う人口減少が進む中、社会情勢も大きな転換期を迎えております。加えて、近年は自然災害が一層激しさと頻度を増し、各地で甚大な被害が発生しており、こうした状況を踏まえ、人口減少対策をはじめ、防災・減災の取組など、時代の変化にこれまで以上に迅速かつ的確に向き合うことが求められております。

本市といたしましても、市民の皆さまの安全・安心を守り、将来にわたり活力ある地域を築き、「未来につながる小松島」、「次の世代に誇れる小松島」を具現化していくため、多様な価値観を踏まえた様々な施策を展開しております。

そのひとつが、令和9年の開校を目指し建設工事を本格的に進めている「小学校再編」であります。工事に伴い、市民の皆さまにはご不便をおかけしておりますが、未来を担う子どもたちが安心して学び、伸び伸びと育ち、質の高い教育を受けられる環境の中で、周辺市まちからも小松島で学ばせたいと思っただけのような学校を教育委員会と共につくって参りたいと思っております。

また、働く機会の創出と環境整備として、これまでのテレワークの拠点となる「こまつしま働き方支援センター」に加え、学び直しの場である「小松島リスキリングカレッジ」を軸に、デジタルスキルの習得から就労までを一体的に支える仕組みを整えてまいりましたが、このようなテレワークとリスキリングを組み合わせた本市独自の受講者お一人お一人の人生に寄り添った取組が評価され、内閣府主催の「2025年度地方創生テレワークアワード」において全国の自治体で唯一となる地方創生担当大臣賞を受賞いたしました。

さらに、「災害から命を守るまち」を実現するため、ハード面では和田島北部地区での津波避難タワーの建設工事に着手し、ソフト面では小型無人機ドローンやバイクを活用した災害時の情報収集部隊である「機能別消防団」を県内で初めて創設しております。

また、災害時における相互応援協定を宮城県塩竈（しおがま）市や香川県坂出市とも締結し、本市の防災・減災対策を一段と前に進めております。

本年も引き続き、にぎわいの創出等により、人と人との交流を通じて、人口減少社会に真っ向から向き合い、持続可能な小松島づくりの実現に向け、取り組んでまいりますので、今後とも皆さまの変わらぬご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びにあたり、本市は、本年、市制施行75周年という節目の年を迎えます。

「次世代へとつなぐまちづくり」を大きな柱に据え、歴史や文化、そして人のつながりを未来に継承するための新たな取組を進めてまいりますので、市民の皆さまにおかれましては、こうした新たな挑戦に期待を寄せていただき、ともに次の時代を築いていく力をお貸しいただければ幸いです。

本年が皆さまにとりまして、健やかで実り多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。



令和8年1月1日 小松島市長 中山 俊雄